

エビモ

流れのある河川や水路、流れのない湖やため池などに、水中に沈んだ状態で生育します。流れのあるところでは特によく見られる水草の一つで、少々汚れた水中でも生育することができます。

茎に細長い葉をたくさんつけます。葉のふちがちぢれているので、他の水草から簡単に見分けることができます。

5月から9月にかけて、目立たない小さな花をつけます。また茎と葉が肥大して硬くなった殖芽（しょくが）をつくって増えます。

富士市での現状

傾斜が緩やかな地域や平野部を流れる河川や水路に生育しています。富士川左岸の河口近くの池でも生育が確認されています。流れが速く、川床に石や岩が多い河川の上流や時々水が流れなくなって干上がる水路などでは見られません。旧富士川町域では、確認されていません。

エビモは水質汚濁に強い種といわれていますが、水の汚れがあまりにもひどい川や水路では姿を消します。いつも水が流れている汚れの少ない川が、エビモの生育に適しているようです。



エビモの生えている様子

エビモを確認したメッシュ

